

調査の概要

- 1 この報告書は、住民基本台帳等人口調査要綱及び同要領に基づき、平成12年1月1日現在で調査したものである。
- 2 調査内容は、住民基本台帳法により、住民票に記載されている公帳簿上の世帯数及び人口（男・女）を、区市町村ごとに町丁（字）別、年齢各歳別に把握したものである。
- 3 住民基本台帳法の適用を除外されている者（日本の国籍を有しない者及び戸籍法の適用を受けない者）は、調査の対象としていない。
- 4 町丁（字）制を施行していない地域等については、通常用いている区画（自治会、町会名称等）によることとしたが、利島村、神津島村、御蔵島村及び青ヶ島村については、村を1つの区画とした。

凡 例

- 1 統計表及び図表の数値は、特にことわり書きのない限り、各年1月1日現在の数値を示す。
- 2 市部、町村部の区域は、過去に遡って現在の区域に組み替えて表章した。
- 3 統計表において「-」印は皆無又は該当数のないことを示し、「△」印はマイナス（減）を示す。
- 4 統計表において割合を示す数値は、四捨五入してあるため、総数と内訳の合計が一致しない場合がある。

この報告書についての照会は

総務局統計部人口統計課人口動態統計係

電話 5321-1111(代)

内線25-511・2

5388-2531(ダイヤルイン)

結果の概説

1 1月1日現在人口

平成12年1月1日現在における東京都の住民基本台帳人口は11,750,351人で、前年に比べ55,417人(0.47%)の増加となっている。

調査開始(昭和32年)以来の推移をみると、55年、56年を除いて毎年増加していたものの、63年以降は減少を続けてきたが9年には増加に転じた。12年は4年連続して増加し、ピーク時の昭和62年を上回り過去最高となった。

人口総数を男女別にみると、男子5,857,130人、女子5,893,221人であり、前年に比べ、男子は24,626人(0.42%)、女子は30,791人(0.53%)増加した。人口性比(女子100人に対する男子の数)は99.4で、前年に比べ0.1ポイント低下し、平成8年から引き続き100を下回っている。

地域別にみると、区部人口は7,921,476人で、前年に比べ29,209人(0.37%)、市部人口は3,736,208人で、26,359人(0.71%)といずれも増加となっている。一方、町村部人口は92,667人で151人(0.16%)の減少となっている。

(表1、表2、図1、統計表第1表参照)

図1 人口総数及び人口増減率の推移
(昭和32年～平成12年)

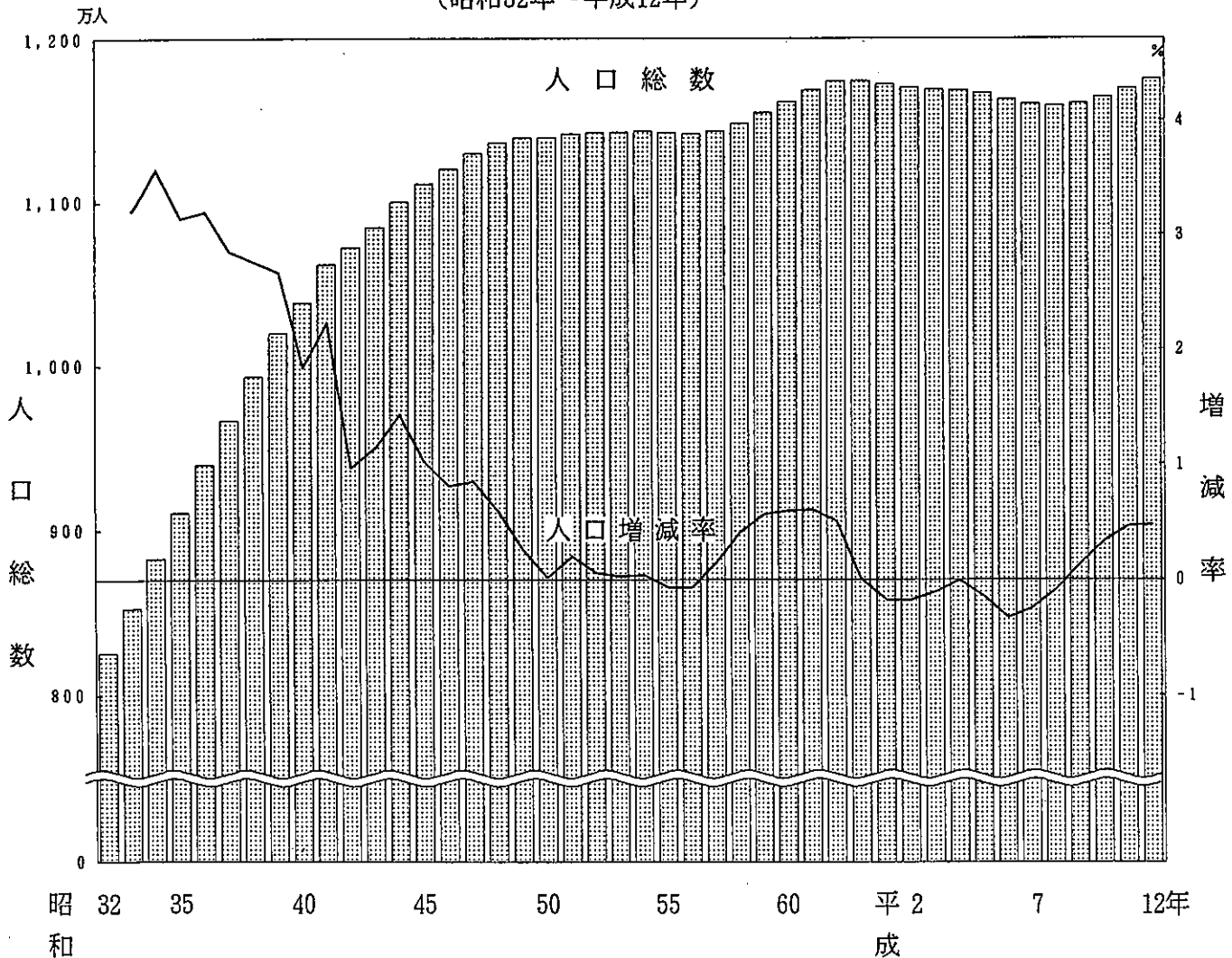


表1 人口総数及び男女別人口の推移（平成2年～平成12年）

(単位 人、%)

年次	総数			男			女			人口性比
	人口	増減人口	増減率	人口	増減人口	増減率	人口	増減人口	増減率	
平成2	11 698 060	△20 660	△0.18	5 883 398	△14 502	△0.25	5 814 662	△ 6 158	△0.11	101.2
3	11 684 927	△13 133	△0.11	5 872 424	△10 974	△0.19	5 812 503	△ 2 159	△0.04	101.0
4	11 683 316	△ 1 611	△0.01	5 865 617	△ 6 807	△0.12	5 817 699	5 196	0.09	100.8
5	11 666 227	△17 089	△0.15	5 850 386	△15 231	△0.26	5 815 841	△ 1 858	△0.03	100.6
6	11 627 577	△38 650	△0.33	5 824 125	△26 261	△0.45	5 803 452	△12 389	△0.21	100.4
7	11 598 634	△28 943	△0.25	5 803 315	△20 810	△0.36	5 795 319	△ 8 133	△0.14	100.1
8	11 587 726	△10 908	△0.09	5 791 829	△11 486	△0.20	5 795 897	578	0.01	99.9
9	11 602 642	14 916	0.13	5 793 911	2 082	0.04	5 808 731	12 834	0.22	99.7
10	11 641 308	38 666	0.33	5 808 485	14 574	0.25	5 832 823	24 092	0.41	99.6
11	11 694 934	53 626	0.46	5 832 504	24 019	0.41	5 862 430	29 607	0.51	99.5
12	11 750 351	55 417	0.47	5 857 130	24 626	0.42	5 893 221	30 791	0.53	99.4

表2 地域別人口の推移（平成2年～平成12年）

(単位 人、%)

年次	区 部			市 部			町 村 部		
	人口	増減人口	増減率	人口	増減人口	増減率	人口	増減人口	増減率
平成2	8 091 701	△58 414	△0.72	3 513 779	37 200	1.07	92 580	554	0.60
3	8 045 577	△46 124	△0.57	3 546 414	32 635	0.93	92 936	356	0.38
4	8 012 523	△33 054	△0.41	3 577 677	31 263	0.88	93 116	180	0.19
5	7 969 439	△43 084	△0.54	3 603 748	26 071	0.73	93 040	△76	△0.08
6	7 913 299	△56 140	△0.70	3 620 949	17 201	0.48	93 329	289	0.31
7	7 871 159	△42 140	△0.53	3 634 040	13 091	0.36	93 435	106	0.11
8	7 846 487	△24 672	△0.31	3 647 690	13 650	0.38	93 549	114	0.12
9	7 846 823	336	0.00	3 662 487	14 797	0.41	93 332	△ 217	△0.23
10	7 863 301	16 478	0.21	3 685 048	22 561	0.62	92 959	△ 373	△0.40
11	7 892 267	28 966	0.37	3 709 849	24 801	0.67	92 818	△ 141	△0.15
12	7 921 476	29 209	0.37	3 736 208	26 359	0.71	92 667	△ 151	△0.16

2 年齢別人口

(1) 5歳階級別人口

人口総数を5歳階級別（カッコ内の数字は構成比）にみると、25～29歳が1,130,820人（9.62%）で最も多く、次いで、30～34歳の1,005,937人（8.56%）、20～24歳の926,236人（7.88%）の順となっている。

5歳階級別人口を地域別にみると、区部は、25～29歳が777,767人（9.82%）で最も多く、次いで、30～34歳の692,360人（8.74%）、50～54歳の625,150人（7.89%）の順となっている。市部は、25～29歳が346,962人（9.29%）で最も多く、次いで、20～24歳の309,191人（8.28%）、30～34歳の308,101人（8.25%）の順となっている。

一方、町村部は、50～54歳の8,132人（8.78%）、45～49歳の7,298人（7.88%）、55～59歳の7,060人（7.62%）の順となっている。
（表3参照）

表3 地域別、年齢（5歳階級）別人口

（単位 人、%）

年 齢	総 数	区 部	市 部	町 村 部	構 成 比			
					総 数	区 部	市 部	町村部
総 数	11 750 351	7 921 476	3 736 208	92 667	100.00	100.00	100.00	100.00
0～4歳	477 410	305 473	168 195	3 742	4.06	3.86	4.50	4.04
5～9	462 217	292 256	165 771	4 190	3.93	3.69	4.44	4.52
10～14	490 527	310 088	175 568	4 871	4.17	3.91	4.70	5.26
15～19	594 306	374 761	213 943	5 602	5.06	4.73	5.73	6.05
20～24	926 236	611 518	309 191	5 527	7.88	7.72	8.28	5.96
25～29	1 130 820	777 767	346 962	6 091	9.62	9.82	9.29	6.57
30～34	1 005 937	692 360	308 101	5 476	8.56	8.74	8.25	5.91
35～39	830 909	566 996	258 813	5 100	7.07	7.16	6.93	5.50
40～44	708 882	480 052	223 317	5 513	6.03	6.06	5.98	5.95
45～49	795 560	532 871	255 391	7 298	6.77	6.73	6.84	7.88
50～54	925 102	625 150	291 820	8 132	7.87	7.89	7.81	8.78
55～59	852 723	574 379	271 284	7 060	7.26	7.25	7.26	7.62
60～64	726 961	495 859	225 385	5 717	6.19	6.26	6.03	6.17
65～69	628 761	434 698	188 691	5 372	5.35	5.49	5.05	5.80
70～74	487 740	340 552	139 474	4 714	4.15	4.30	3.73	5.09
75～79	327 831	234 668	89 627	3 536	2.79	2.96	2.40	3.82
80～84	205 708	147 213	56 093	2 402	1.75	1.86	1.50	2.59
85～89	120 799	86 074	33 199	1 526	1.03	1.09	0.89	1.65
90歳以上	54 909	38 737	15 374	798	0.47	0.49	0.41	0.86
不詳者	13	4	9	—	0.00	0.00	0.00	—

(2) 10歳階級別構成比

人口総数を10歳階級別の構成比で見ると、20歳代が17.51%で最も高く、次いで30歳代(15.63%)、50歳代(15.13%)の順となっている。

次に、10年前の構成比と比べると、0～9歳、10歳代、20歳代及び40歳代では低下しており、30歳代及び50歳代以上の階級では上昇している。

(表4、図2 参照)

(3) 10歳階級別人口性比

人口性比を10歳階級別にみると、30歳代が112.5で最も高く、次いで20歳代(109.3)、40歳代(106.8)の順となっている。

人口性比は50歳代で100を割り、年代が進むにつれて低くなっている。

(表4 参照)

図2 年齢(10歳階級)別人口の推移
(昭和55年・平成2年・平成12年)

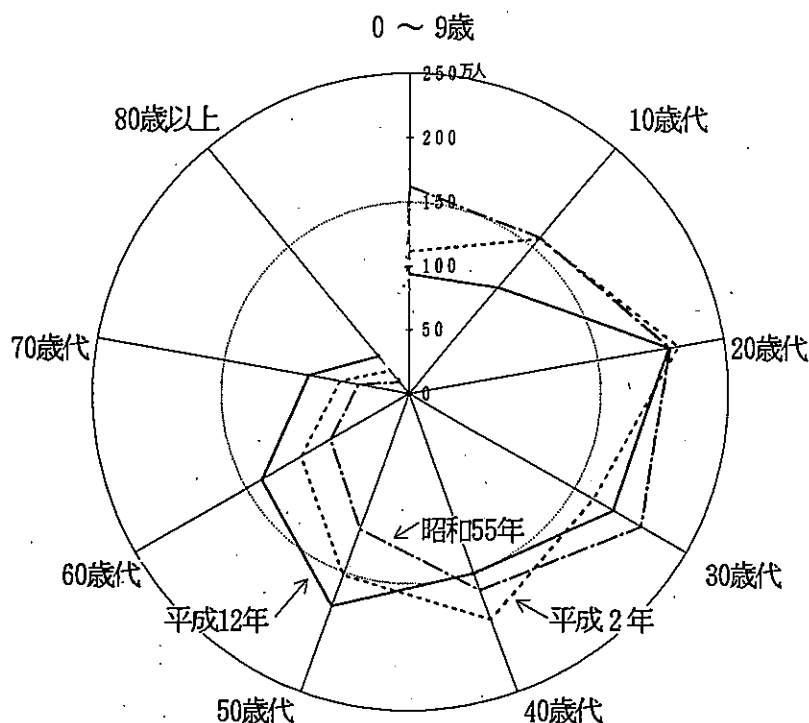


表4 男女別人口の年齢(10歳階級)別構成比及び性比の推移(55年・2年・12年)

年 齢	昭 和 5 5 年			平 成 2 年			平 成 1 2 年			性比(女100人につき男)		
	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	55年	2年	12年
総 数	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.9	101.2	99.4
0～9歳	14.23	14.55	13.92	9.52	9.68	9.35	8.00	8.22	7.78	105.4	104.8	105.1
10歳代	13.96	14.30	13.62	13.51	13.83	13.19	9.23	9.48	8.98	105.9	106.1	104.9
20歳代	18.12	19.53	16.70	18.25	19.76	16.73	17.51	18.34	16.68	118.0	119.5	109.3
30歳代	18.34	18.79	17.89	14.20	14.95	13.45	15.63	16.60	14.67	105.9	112.5	112.5
40歳代	14.39	14.08	14.70	16.19	16.18	16.20	12.80	13.26	12.35	96.6	101.0	106.8
50歳代	9.96	9.18	10.75	13.01	12.61	13.42	15.13	15.13	15.13	86.1	95.0	99.4
60歳代	6.32	5.63	7.03	8.53	7.63	9.44	11.54	10.97	12.10	80.8	81.8	90.1
70歳代	3.61	3.15	4.06	4.77	3.91	5.63	6.92	5.82	8.00	78.2	70.3	72.3
80歳代	1.00	0.76	1.23	1.83	1.34	2.32	2.78	1.92	3.63	62.5	58.4	52.4
90歳以上	0.07	0.04	0.10	0.19	0.11	0.28	0.47	0.25	0.69	43.6	41.7	36.1

(注) 総数には年齢不詳者を含む。

3 年齢3区分別人口

(1) 年齢3区分別人口の推移

人口総数を年齢3区分別にみると、年少人口(0～14歳)は1,430,154人で、前年に比べ10,488人(0.73%)の減少となっており、昭和51年以降減少が続いている。人口総数に占める割合は12.17%であり、10年前の平成2年(15.19%)に比べ3.02ポイント低下している。

生産年齢人口(15～64歳)は8,497,436人で、前年に比べ741人(0.01%)の増加となり、8年ぶりに増加に転じた。しかし、人口総数に占める割合は平成5年以降低下を続け、72.32%となり、10年前(74.42%)に比べ2.10ポイント低下している。

老年人口(65歳以上)は1,822,748人で、前年に比べ65,167人(3.71%)の増加となっており、調査開始以来一貫して増加している。人口総数に占める割合は15.51%で、10年前(10.39%)に比べ、5.12ポイント上昇している。

なお、老年人口のうちの70歳以上は1,193,987人で前年に比べ48,125人(4.20%)の増加で人口総数に占める割合は10.16%となり、また、75歳以上は709,247人で前年に比べ29,810人(4.39%)の増加で人口総数に占める割合は6.04%となっている。

(表5-1、表5-2、図3、参考表第4表～第6表参照)

表5-1 年齢(3区分)別人口の推移(平成2年～平成12年)

(単位 人、%)

年次	年少人口(0～14歳)			生産年齢人口(15～64歳)			老年人口(65歳以上)			うち70歳以上			うち75歳以上		
	人口	増減人口	増減率	人口	増減人口	増減率	人口	増減人口	増減率	人口	増減人口	増減率	人口	増減人口	増減率
平成2	1 777 415	△80 786	△4.35	8 705 260	17 322	0.20	1 215 356	42 804	3.65	793 914	24 052	3.12	481 396	22 475	4.90
3	1 712 004	△65 411	△3.68	8 706 731	1 471	0.02	1 266 165	50 809	4.18	822 312	28 398	3.58	501 455	20 059	4.17
4	1 656 726	△55 278	△3.23	8 708 151	1 420	0.02	1 318 412	52 247	4.13	852 706	30 394	3.70	519 950	18 495	3.69
5	1 605 905	△50 821	△3.07	8 688 396	△19 755	△0.23	1 371 902	53 490	4.06	882 964	30 258	3.55	538 984	19 034	3.66
6	1 557 250	△48 655	△3.03	8 641 549	△46 847	△0.54	1 428 756	56 854	4.14	915 063	32 099	3.64	554 187	15 203	2.82
7	1 521 495	△35 755	△2.30	8 590 559	△50 990	△0.59	1 486 560	57 804	4.05	952 995	37 932	4.15	574 111	19 924	3.60
8	1 491 832	△29 663	△1.95	8 549 947	△40 612	△0.47	1 545 928	59 368	3.99	998 471	45 476	4.77	597 993	23 882	4.16
9	1 468 773	△23 059	△1.55	8 521 425	△28 522	△0.33	1 612 425	66 497	4.30	1 046 281	47 810	4.79	624 960	26 967	4.51
10	1 452 699	△16 074	△1.09	8 503 421	△18 004	△0.21	1 685 171	72 746	4.51	1 094 464	48 183	4.61	651 159	26 199	4.19
11	1 440 642	△12 057	△0.83	8 496 695	△6 726	△0.08	1 757 581	72 410	4.30	1 145 862	51 398	4.70	679 437	28 278	4.34
12	1 430 154	△10 488	△0.73	8 497 436	741	0.01	1 822 748	65 167	3.71	1 193 987	48 125	4.20	709 247	29 810	4.39

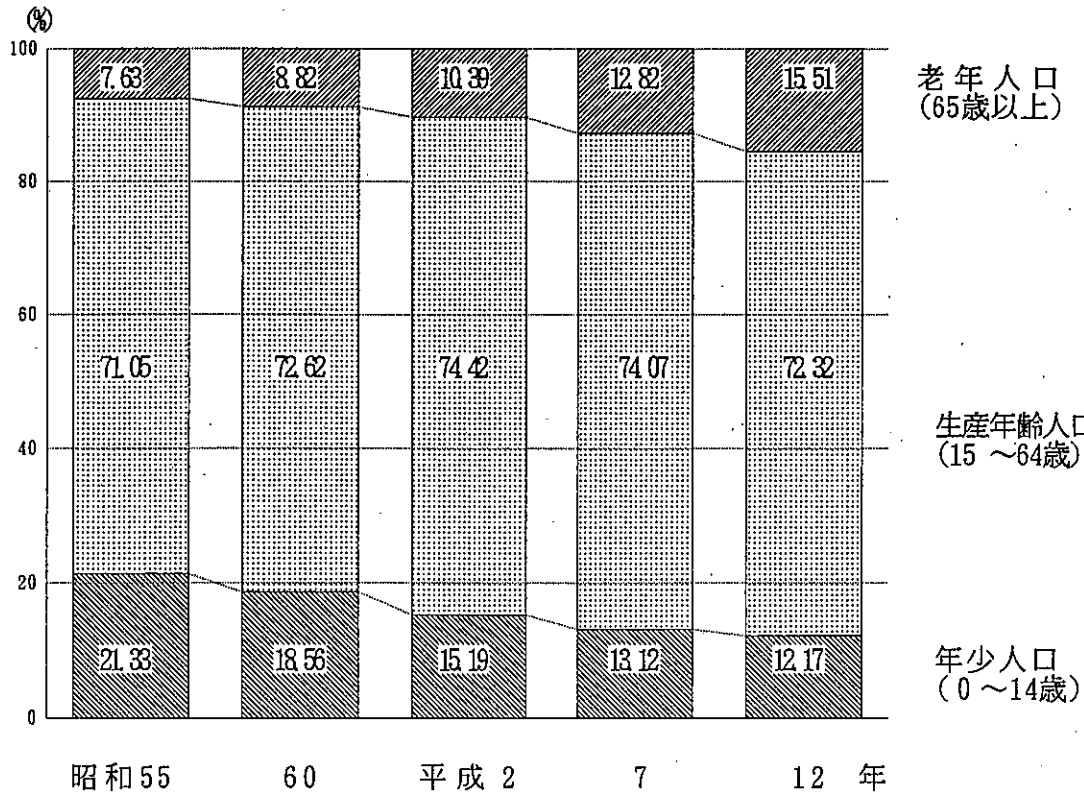
表 5 - 2 年齢（3区分）別人口及び構成比の推移（平成 2年～平成12年）

（単位 人、％）

年次	総数		年少人口 (0～14歳)		生産年齢人口 (15～64歳)		老年人口 (65歳以上)		うち70歳以上			
	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	うち70歳以上		うち75歳以上	
									人口	構成比	人口	構成比
平成 2	11 698 060	100.0	1 777 415	15.19	8 705 260	74.42	1 215 356	10.39	793 914	6.79	481 396	4.12
3	11 684 927	100.0	1 712 004	14.65	8 706 731	74.51	1 266 165	10.84	822 312	7.04	501 455	4.29
4	11 683 316	100.0	1 656 726	14.18	8 708 151	74.53	1 318 412	11.28	852 706	7.30	519 950	4.45
5	11 666 227	100.0	1 605 905	13.77	8 688 396	74.47	1 371 902	11.76	882 964	7.57	538 984	4.62
6	11 627 577	100.0	1 557 250	13.39	8 641 549	74.32	1 428 756	12.29	915 063	7.87	554 187	4.77
7	11 598 634	100.0	1 521 495	13.12	8 590 559	74.07	1 486 560	12.82	952 995	8.22	574 111	4.95
8	11 587 726	100.0	1 491 832	12.87	8 549 947	73.78	1 545 928	13.34	998 471	8.62	597 993	5.16
9	11 602 642	100.0	1 468 773	12.66	8 521 425	73.44	1 612 425	13.90	1 046 281	9.02	624 960	5.39
10	11 641 308	100.0	1 452 699	12.48	8 503 421	73.05	1 685 171	14.48	1 094 464	9.40	651 159	5.59
11	11 694 934	100.0	1 440 642	12.32	8 496 695	72.65	1 757 581	15.03	1 145 862	9.80	679 437	5.81
12	11 750 351	100.0	1 430 154	12.17	8 497 436	72.32	1 822 748	15.51	1 193 987	10.16	709 247	6.04

（注）総数には年齢不詳者を含む。

図 3 年齢（3区分）別人口（構成比）の推移
（昭和55年～平成12年）



(2) 地域別比較

年齢3区分別人口の構成比を地域別にみると、年少人口の割合は、町村部(13.82%)が最も高く、次いで市部(13.64%)、区部(11.46%)の順となっている。

生産年齢人口の割合は、市部(72.38%)が最も高く、次いで、区部(72.36%)、町村部(66.38%)の順となっている。

老年人口の割合は、町村部(19.80%)が最も高く、次いで、区部(16.18%)、市部(13.98%)の順となっている。特に、島部の町村(24.58%)で高くなっている。(表6参照)

表6 地域別、年齢(3区分)別人口

(単位 人、%)

地 域	総 数		年少人口(0~14歳)		生産年齢人口(15~64歳)		老年人口(65歳以上)	
	人 口	構成比	人 口	構成比	人 口	構成比	人 口	構成比
総 数	11 750 351	100.00	1 430 154	12.17	8 497 436	72.32	1 822 748	15.51
区 部	7 921 476	100.00	907 817	11.46	5 731 713	72.36	1 281 942	16.18
市 部	3 736 208	100.00	509 534	13.64	2 704 207	72.38	522 458	13.98
町村部	92 667	100.00	12 803	13.82	61 516	66.38	18 348	19.80
郡部	61 010	100.00	8 345	13.68	42 097	69.00	10 568	17.32
島部	31 657	100.00	4 458	14.08	19 419	61.34	7 780	24.58

(注) 総数には年齢不詳者を含む。

(3) 区市町村別比較

年齢3区分別人口の構成比を区市町村別にみると、年少人口の割合は、青ヶ島村(18.54%)が最も高く、都全体(12.17%)に比べ6.37ポイント高くなっている。次いで、神津島村(17.77%)、小笠原村(16.35%)の順となっている。最も低いのは渋谷区(8.75%)で、次いで、豊島区(9.11%)、新宿区(9.28%)の順となっている。

生産年齢人口の割合は、多摩市(75.94%)が最も高く、都全体(72.32%)に比べ3.62ポイント高くなっている。次いで、渋谷区(74.26%)、稲城市(74.13%)の順となっている。最も低いのは檜原村(56.04%)で、次いで、三宅村(58.10%)、新島村(58.67%)の順となっている。

老年人口の割合は、檜原村(34.24%)が最も高く、都全体(15.51%)に比べ18.73ポイント高くなっている。次いで、奥多摩町(30.15%)、新島村(29.52%)の順となっている。最も低いのは小笠原村(9.86%)で、次いで、多摩市(10.54%)、稲城市(10.59%)の順となっている。

(表7参照)

表7 区市町村別平均年齢及び年齢(3区分)別人口の割合

地 域	平均 年齢 (歳)	年齢(3区分)別人口の割合(%)			地 域	平均 年齢 (歳)	年齢(3区分)別人口の割合(%)		
		0~14歳	15~64歳	65歳以上			0~14歳	15~64歳	65歳以上
総 数	41.13	12.17	72.32	15.51					
区 部	41.68	11.46	72.36	16.18	田 無 市	40.23	13.64	71.60	14.76
千代田区	43.57	11.40	68.39	20.21	保 谷 市	40.97	13.18	70.45	16.38
中央区	42.51	12.16	70.43	17.42	福 生 市	39.12	15.38	71.59	13.03
港区	43.08	10.26	72.06	17.67	狛 江 市	40.86	11.18	73.56	15.26
新宿区	42.99	9.28	72.83	17.89	東 大 和 市	39.84	14.93	71.84	13.22
文京区	42.88	10.40	71.12	18.48	清 瀬 市	41.42	13.51	70.50	15.98
台東区	45.52	9.58	68.96	21.46	東久留米市	40.30	14.16	71.81	14.03
墨田区	43.30	11.05	70.96	18.00	武蔵村山市	39.33	15.47	72.12	12.41
江東区	42.00	11.37	73.55	15.09	多 摩 市	38.68	13.52	75.94	10.54
品川区	42.63	10.18	72.89	16.92	稲 城 市	38.24	15.28	74.13	10.59
目黒区	42.00	9.97	73.37	16.66	羽 村 市	38.12	16.26	72.60	11.14
大田区	41.84	11.55	72.22	16.22	あきる野市	40.86	15.06	69.67	15.27
世田谷区	40.85	10.83	73.68	15.49	町 村 部	43.32	13.82	66.38	19.80
渋谷区	42.44	8.75	74.26	16.99	郡 部	42.09	13.68	69.00	17.32
中野区	41.93	9.45	73.47	17.08	瑞 穂 町	38.95	15.87	71.96	12.17
杉並区	41.50	9.92	73.55	16.53	日の出町	43.27	11.94	70.11	17.96
豊島区	42.96	9.11	72.82	18.07	檜 原 村	50.72	9.72	56.04	34.24
北区	43.87	10.22	70.54	19.24	奥 多 摩 町	48.96	9.87	59.99	30.15
荒川区	43.86	11.20	69.44	19.36	島 部	45.68	14.08	61.34	24.58
板橋区	41.15	11.86	72.75	15.39	大 島 支 庁	46.30	13.27	61.00	25.73
練馬区	40.21	13.40	71.78	14.82	大 島 町	46.46	12.70	61.94	25.36
足立区	41.11	13.47	71.56	14.96	利 島 村	45.42	13.20	64.69	22.11
葛飾区	41.60	13.04	70.78	16.18	新 島 村	48.51	11.80	58.67	29.52
江戸川区	38.91	14.72	73.11	12.16	神 津 島 村	42.61	17.77	59.84	22.39
市 部	39.91	13.64	72.38	13.98	三 宅 支 庁	47.39	13.13	58.50	28.36
八王子市	39.48	14.00	72.70	13.31	三 宅 村	47.77	12.93	58.10	28.97
立川市	39.74	13.60	72.66	13.74	御 蔵 島 村	41.72	16.22	64.48	19.31
武蔵野市	40.97	11.27	72.44	16.30	八 丈 支 庁	46.09	15.22	59.95	24.83
三鷹市	40.38	12.01	72.86	15.13	八 丈 町	46.23	15.14	59.80	25.05
青梅市	39.68	15.61	70.32	14.06	青ヶ島村	39.35	18.54	66.83	14.63
府中市	39.38	13.90	72.46	13.63	小 笠 原 支 庁	37.26	16.35	73.79	9.86
昭島市	40.17	14.44	71.32	14.24	小 笠 原 村	37.26	16.35	73.79	9.86
調布市	40.05	12.25	73.38	14.36					
町田市	40.36	13.36	72.95	13.69					
小金井市	39.77	13.02	72.10	14.88					
小平市	39.58	14.18	71.51	14.31					
日野市	39.76	13.02	73.29	13.69					
東村山市	40.90	14.06	70.03	15.92					
国分寺市	39.98	12.21	73.19	14.60					
国立市	39.28	13.95	72.17	13.88					

4 平均年齢

平均年齢は、41.1歳と前年に比べ0.3歳高くなっている。これを男女別にみると、男子39.8歳、女子42.5歳と女子のほうが2.7歳高くなっている。

地域別にみると町村部の43.3歳が最も高く、次いで、区部（41.7歳）、市部（39.9歳）の順となっており、いずれの地域でも上昇が続いている。

区市町村別にみると、檜原村の50.72歳が最も高く、次いで、奥多摩町（48.96歳）、新島村（48.51歳）の順となっている。最も低いのは小笠原村（37.26歳）で、次いで、羽村市（38.12歳）、稲城市（38.24歳）の順となっている。（表7、表8参照）

表8 地域別、男女別平均年齢の推移（昭和55年～平成12年）

（単位 歳）

地 域		55年	60年	2年	7年	8年	9年	10年	11年	12年
総 数	総 数	33.3	35.2	37.2	39.4	39.8	40.2	40.5	40.8	41.1
	区 部	34.0	35.9	37.9	40.1	40.5	40.8	41.1	41.4	41.7
	市 部	31.5	33.6	35.7	37.9	38.3	38.8	39.2	39.6	39.9
	町村部	33.5	35.1	37.0	40.7	41.1	41.8	42.3	42.8	43.3
	郡部	32.1	33.9	35.9	39.2	39.7	40.4	41.0	41.5	42.1
	島部	37.7	39.5	41.4	43.6	43.9	44.4	44.9	45.3	45.7
男	総 数	32.3	34.1	36.0	38.1	38.5	38.9	39.2	39.5	39.8
	区 部	32.9	34.6	36.6	38.7	39.1	39.4	39.8	40.0	40.3
	市 部	30.7	32.7	34.6	36.7	37.2	37.6	38.0	38.4	38.7
	町村部	32.6	34.0	35.9	39.4	39.8	40.3	40.8	41.3	41.8
	郡部	31.4	32.9	34.9	38.0	38.4	39.1	39.6	40.0	40.6
	島部	36.4	38.0	39.8	42.0	42.4	42.8	43.3	43.7	44.0
女	総 数	34.3	36.4	38.5	40.7	41.1	41.5	41.8	42.2	42.5
	区 部	35.1	37.2	39.3	41.4	41.8	42.2	42.5	42.8	43.0
	市 部	32.3	34.5	36.8	39.0	39.5	39.9	40.4	40.8	41.1
	町村部	34.4	36.2	38.2	42.1	42.5	43.2	43.8	44.4	44.9
	郡部	32.9	34.8	36.9	40.4	41.0	41.8	42.4	43.0	43.6
	島部	39.1	41.0	43.1	45.1	45.5	46.0	46.5	47.0	47.4

5 年齢構造指数

年少人口指数は16.8で、前年より0.2ポイント低下し、老年人口指数は逆に21.5と0.8ポイント上昇している。

年少人口指数は51年以降低下し続けているのに対し、老年人口指数は調査開始以来一貫して上昇を続けている。

従属人口指数は前年より0.7ポイント上昇し、38.3となった。

老年化指数は前年より5.5ポイント高い127.5となり、10年前の68.4の約1.9倍になっている。

(表9、図4参照)

$$\text{年少人口指数} = \frac{\text{年少人口 (0~14歳)}}{\text{生産年齢人口 (15~64歳)}} \times 100$$

$$\text{老年人口指数} = \frac{\text{老年人口 (65歳以上)}}{\text{生産年齢人口 (15~64歳)}} \times 100$$

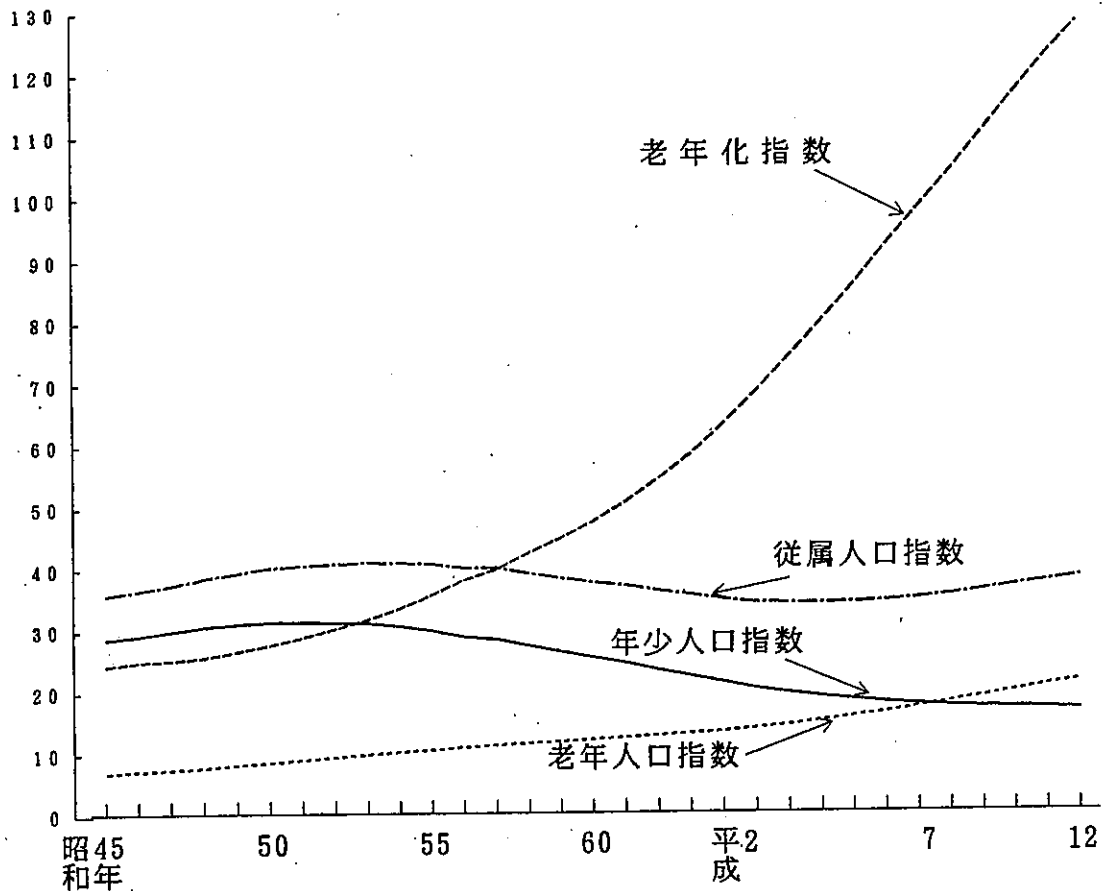
$$\text{従属人口指数} = \frac{\text{年少人口 (0~14歳)} + \text{老年人口 (65歳以上)}}{\text{生産年齢人口 (15~64歳)}} \times 100$$

$$\text{老年化指数} = \frac{\text{老年人口 (65歳以上)}}{\text{年少人口 (0~14歳)}} \times 100$$

表9 年齢構造指数の推移 (昭和55年~平成12年)

指 数	55年	60年	2年	7年	8年	9年	10年	11年	12年
年少人口指数	30.0	25.6	20.4	17.7	17.4	17.2	17.1	17.0	16.8
老年人口指数	10.7	12.2	14.0	17.3	18.1	18.9	19.8	20.7	21.5
従属人口指数	40.8	37.7	34.4	35.0	35.5	36.2	36.9	37.6	38.3
老年化指数	35.8	47.5	68.4	97.7	103.6	109.8	116.0	122.0	127.5

図4 年齢構造指数の推移
(昭和45年～平成12年)



6 世帯数

世帯総数は 5,401,662世帯で前年に比べ77,058世帯(1.45%)の増加となった。1世帯当たりの人員は調査開始以来一貫して減少を続け、2.18人と前年に比べ0.02人少なくなっている。

これを地域別にみると、区部は 3,797,774世帯で、前年に比べ52,430世帯(1.40%)、市部は1,566,810世帯で24,184世帯(1.57%)、町村部は37,078世帯で 444世帯(1.21%)とそれぞれ増加している。1世帯当たりの人員は、町村部の2.50人が最も多く、次いで、市部(2.38人)、区部(2.09人)の順となっている。

区市町村別にみると、世田谷区が 388,875世帯で最も多く、次いで、大田区(301,672世帯)、練馬区(287,745世帯)の順となっている。最も少ないのは青ヶ島村(117世帯)で、次いで、御蔵島村(137世帯)、利島村(157世帯)の順となっている。

1世帯当たりの人員は瑞穂町及び神津島村が2.84人で最も多く、次いで、日の出町及びあきる野市(2.83人)の順となっている。最も少ないのは青ヶ島村(1.75人)で、次いで、渋谷区(1.81人)、小笠原村(1.82人)の順となっている。

(表10、表11、統計表第1表、第4表、参考表第7表参照)

表10 地域別世帯数の推移（平成2年～平成12年）

（単位 世帯、％）

年次	総数			区部			市部			町村部		
	世帯数	増減数	増減率	世帯数	増減数	増減率	世帯数	増減数	増減率	世帯数	増減数	増減率
平成2	4 842 053	39 107	0.81	3 489 665	7 485	0.21	1 320 538	30 980	2.40	31 850	642	2.06
3	4 890 903	48 850	1.01	3 508 572	18 907	0.54	1 349 916	29 378	2.22	32 415	565	1.77
4	4 947 560	56 657	1.16	3 533 490	24 918	0.71	1 381 149	31 233	2.31	32 921	506	1.56
5	4 994 278	46 718	0.94	3 551 171	17 681	0.50	1 409 694	28 545	2.07	33 413	492	1.49
6	5 023 585	29 307	0.59	3 559 036	7 865	0.22	1 430 530	20 836	1.48	34 019	606	1.81
7	5 054 473	30 888	0.61	3 573 202	14 166	0.40	1 446 762	16 232	1.13	34 509	490	1.44
8	5 103 541	49 068	0.97	3 601 358	28 156	0.79	1 467 096	20 334	1.41	35 087	578	1.67
9	5 166 041	62 500	1.22	3 642 018	40 660	1.13	1 488 332	21 236	1.45	35 691	604	1.72
10	5 239 545	73 504	1.42	3 690 179	48 161	1.32	1 513 242	24 910	1.67	36 124	433	1.21
11	5 324 604	85 059	1.62	3 745 344	55 165	1.49	1 542 626	29 384	1.94	36 634	510	1.41
12	5 401 662	77 058	1.45	3 797 774	52 430	1.40	1 566 810	24 184	1.57	37 078	444	1.21

表11 1世帯当たり人員の推移（昭和55年～平成12年）

（単位 人）

地域	55年	60年	2年	7年	8年	9年	10年	11年	12年
総数	2.62	2.52	2.42	2.29	2.27	2.25	2.22	2.20	2.18
区部	2.52	2.42	2.32	2.20	2.18	2.15	2.13	2.11	2.09
市部	2.92	2.81	2.66	2.51	2.49	2.46	2.44	2.40	2.38
町村部	3.22	3.08	2.91	2.71	2.67	2.62	2.57	2.53	2.50

図 5-1 人口の年齢構造(平成12年 東京都)

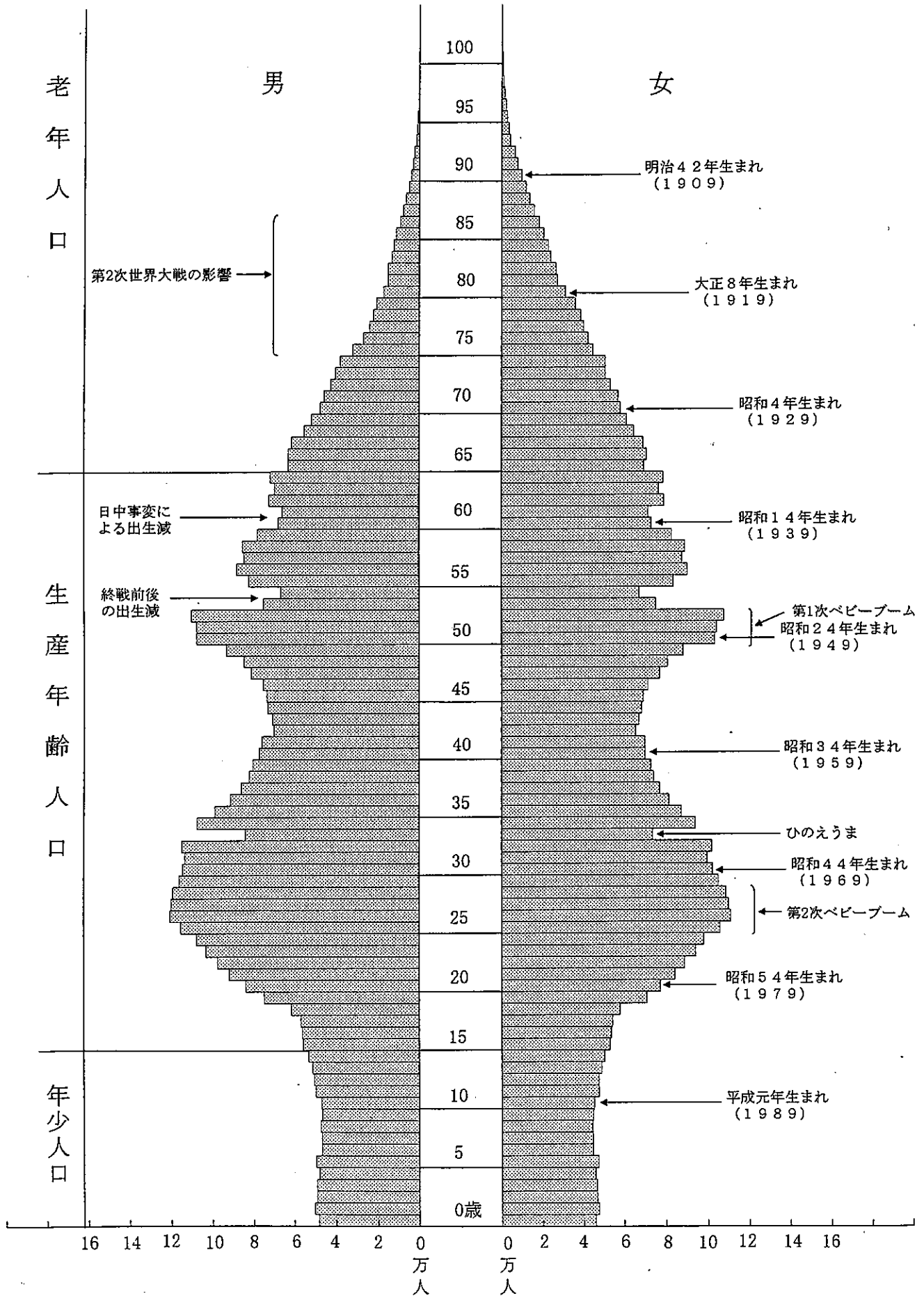


図 5-2 人口の年齢構造(昭和55年・平成12年)

